


53・55

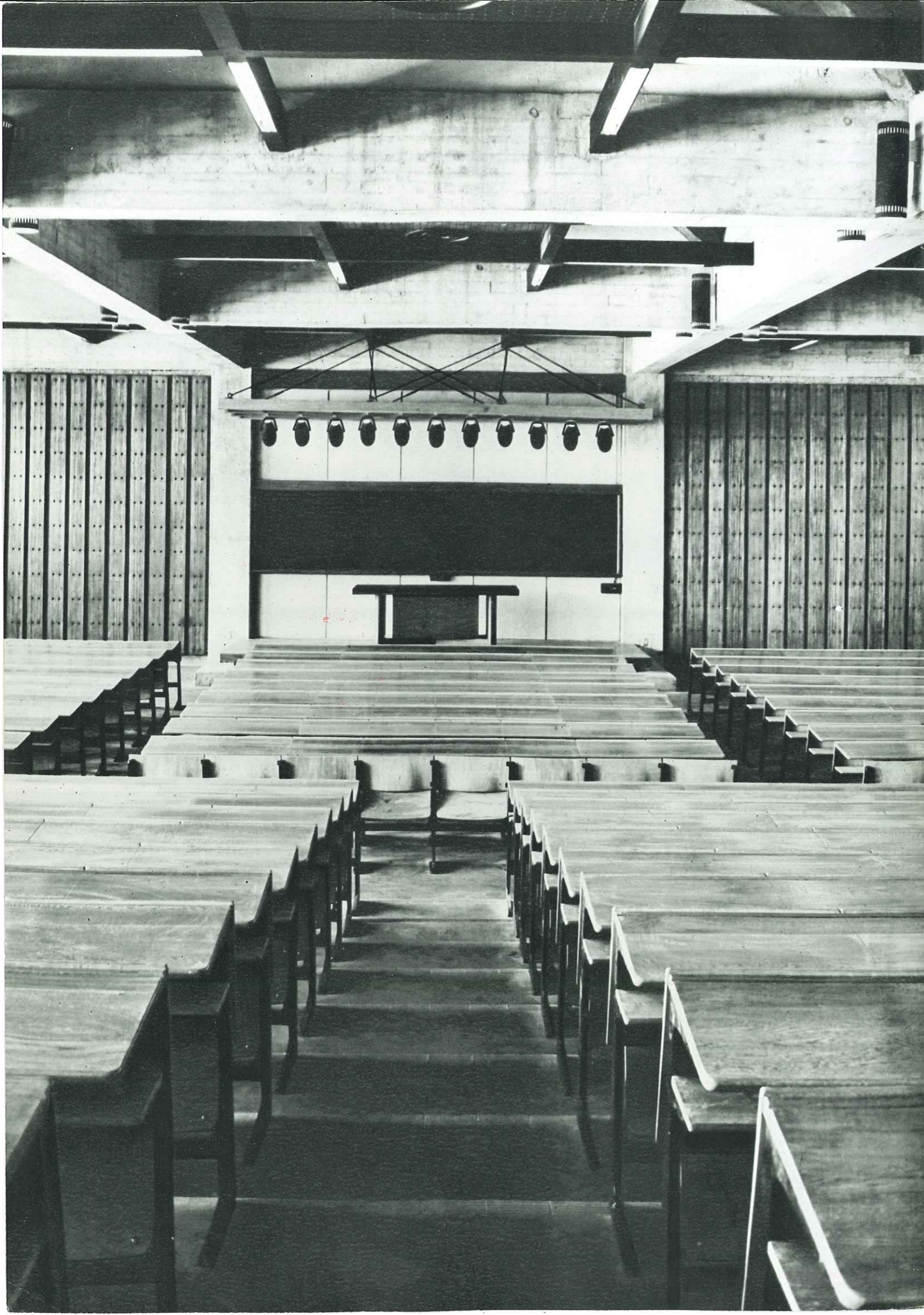
58  
年館

1958年8月31日完成

 大成建設株式会社

法政大学





### ごあいさつ

法政大学は戦争のためにたいへんな損害をうけました。しかしこの学園にはそれを復興すべき精神がありました。その精神により、この学園はまず教授陣の充実、教授の内容の改善に努力いたしましたが、それが実現するにつれて、いよいよ校舎の不足を感じました。そこで、学園の設備の全部を新営する決心をかため、1953年には大学院を作り、ついで、1955年には2850余坪の大教室を作りました。つづいて、1958年すなわち本年には3830余坪の1958年館と1023坪の第Ⅰ・58年館を作りました。前者は教室を主として本部と事務室とのためであり、後者は主として特別教室と教授室とのためですが、そのほかには教授や学生の控室、食堂などがあります。そのいずれも、照明、通風、採光、音響等の点において最新式で、現代の建築技術の最高をつくしています。そしてそのスタイルは質実でありますと同時に豪壮であるといっていると思います。

本学の復興計画はこれを以てその第一期分が完了しました。すなわち教室に関する限り、もはや不足はないと考えます。これからは図書館や体育館等の改築に進みたいと思います。本学の復興事業がこのようにまで進んだのは、本学関係者一同の協力によるものであって、われわれはこういう精神を本学にのこしてくれた先輩卒業生に感謝しなければなりません。また、長い間不自由を忍んで、経済上の負担をも分ってくれたのはほかならぬ学生諸君であります。

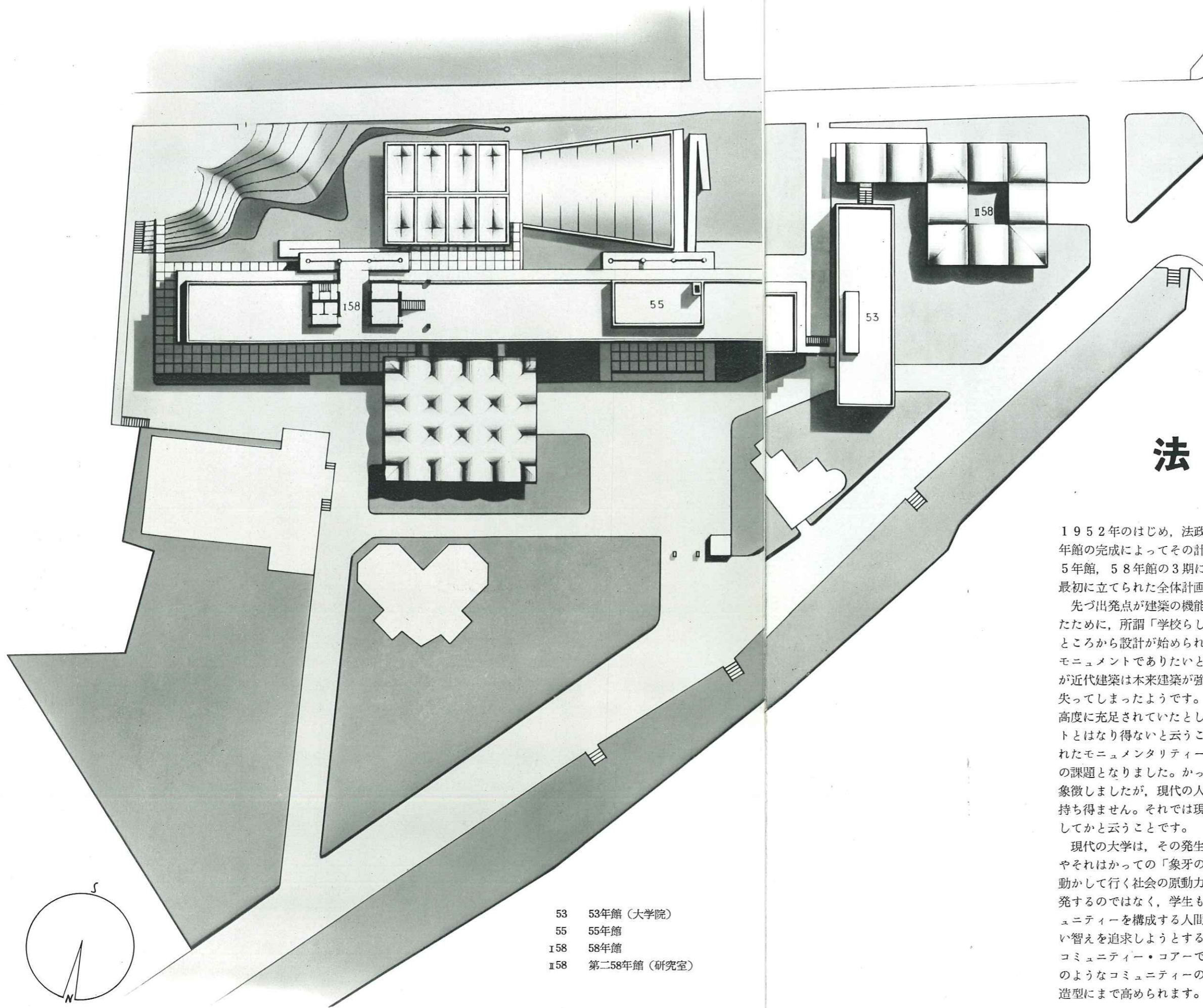
私は、いま本学を代表してこれを現在および将来の法政大学の学生諸君に献じます。そして私は、諸君とともにこれを天下の公器として、大切に使用して、この内において日本の最高最良の知性が鍛練せられるよう希望いたします。

1958年11月3日

法政大学総長

片岡吉郎





- 53 53年館 (大学院)
- 55 55年館
- I58 58年館
- II58 第二58年館 (研究室)

# 法政大学

## 設計要旨

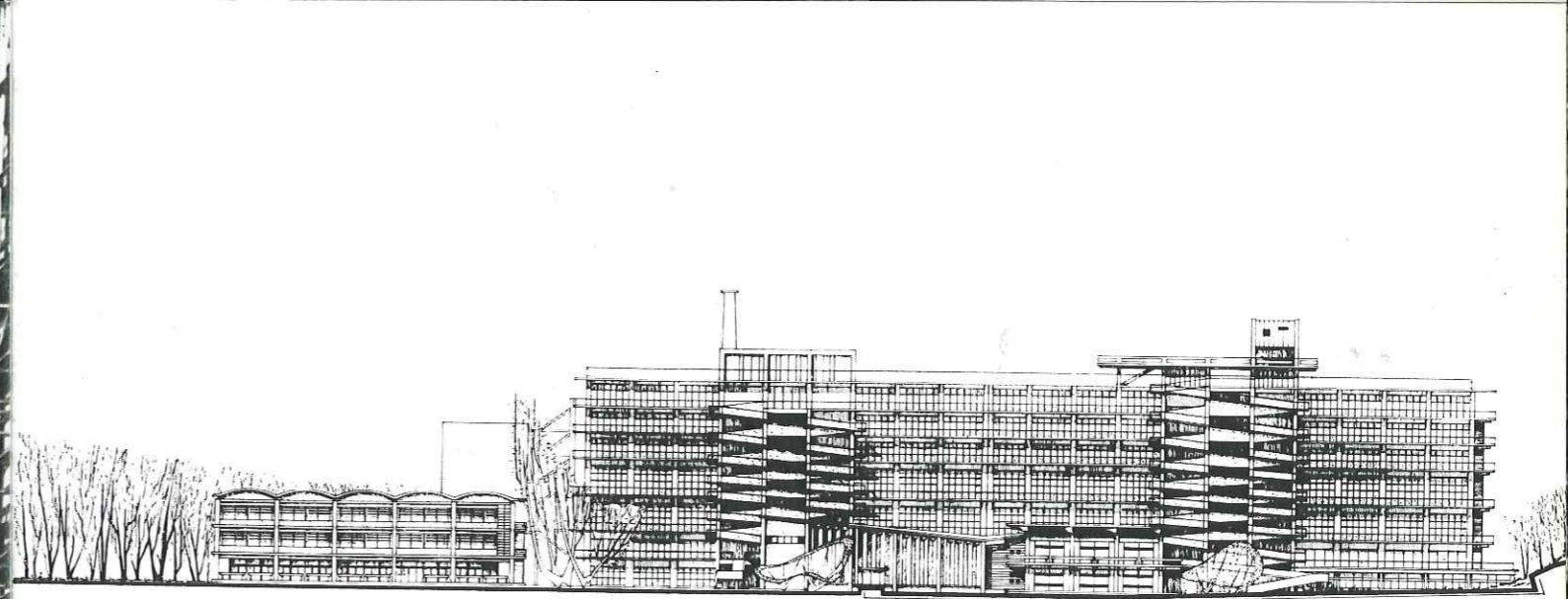
1952年のはじめ、法政大学が本格的な校舎の再建に着手して以来7年、今年度58年館の完成によってその計画の第1段階が終了しました。この計画は、53年館、55年館、58年館の3期に分けて次々に実施されたのですが、夫々の基本設計は、最初に立てられた全体計画の線に乗って進められました。

先づ出発点が建築の機能性と合理性を最高度に尊重しようとするところにおかれたために、所謂「学校らしさ」と云うような旧来の観念は、これを一応乗り越えたところから設計が始められました。しかし乍ら一方、「学校建築」は今なお一つのモニュメントでありたいとする人間の欲求は昔と少しも変わらない願いです。ところが近代建築は本来建築が強く持つていたところのモニュメンタルな性格を今大方は失ってしまったようです。それは唯単に能率的で衛生的なだけでは、それが如何に高度に充足されていたとしても精巧な機械であり得ても、人間のためのモニュメントとはなり得ないと云うことです。高度に機能的であると同時に、建築から失なわれたモニュメンタリティーを再び積極的にとり戻したいと願うことがこの大学建築の課題となりました。かつて古代の神殿や墳墓は、神の力、支配者の権力を強大に象徴しましたが、現代の人間にとってその種のモニュメンタリティーは全く意味を持ち得ません。それでは現代の建築が負う可きモニュメンタリティーは一体何に對してかと云うことです。

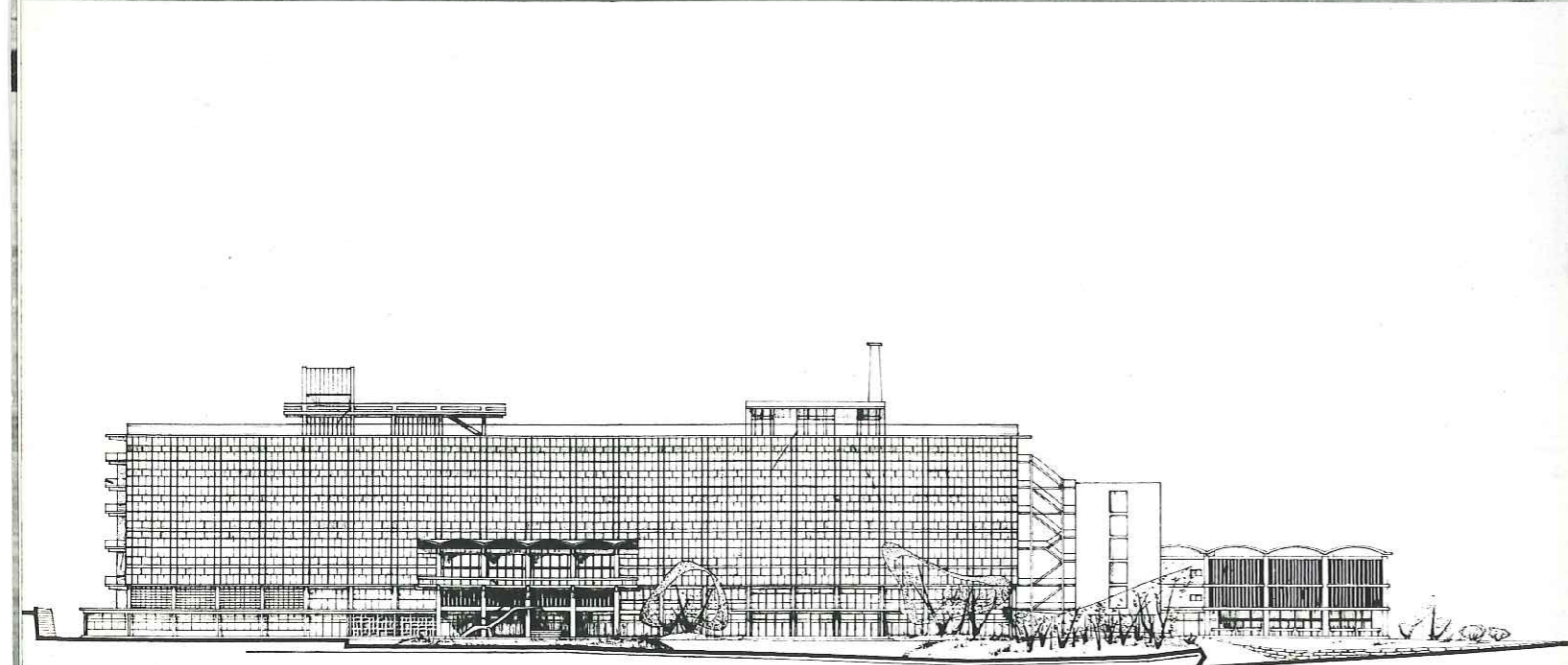
現代の大学は、その発生期に於ける「ゼミナール」とは全く別物であり、又もはやそれはかつての「象牙の塔」でもありません。現代の大学は現実の社会を現実に動かして行く社会の原動力です。この大きな力の源泉は一個の論文・個人の研究に発するのではなく、学生も、先生も、すべての人々を含めて大学と云う一つのコミュニティーを構成する人間の集団そのものの中にあると考えられます。大学は正しい智えを追求しようとする一つの目標に対して齊しく統一された人間集団を容れるコミュニティー・コアです。現代の建築が負う可きモニュメンタリティーは、このようなコミュニティーの持つ迫力が自ら発する強烈なイメージによって、現実の造型にまで高められます。

大江 宏





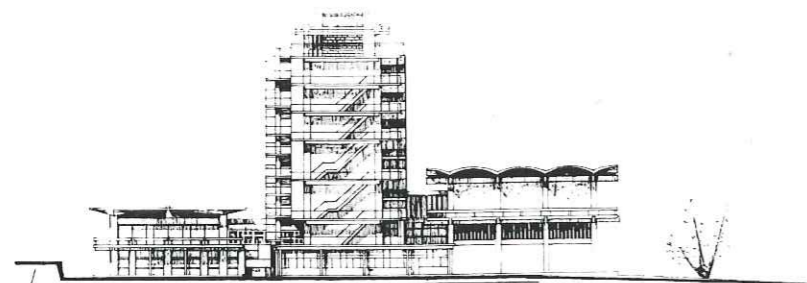
南 面



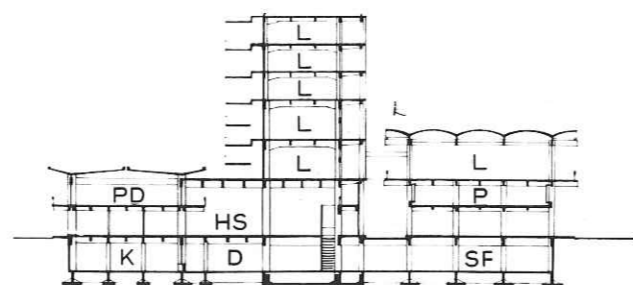
北 面







東 面

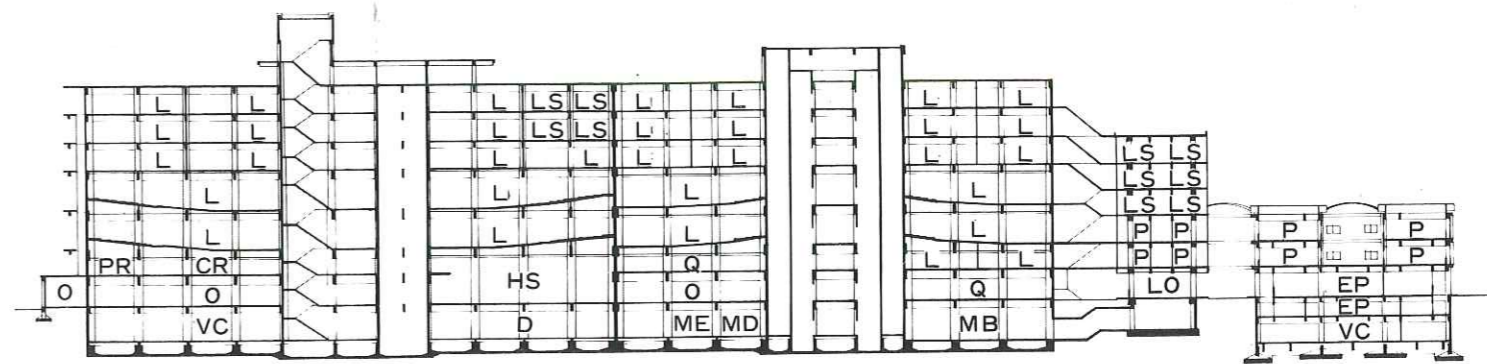


横断面図



◀ 東北上空より正面を望む

東面上空より背面を望む ▶



縦断面図



B  
B R  
C R  
D A  
D E C  
E P  
H  
H C  
H S  
H E

書誼会食ド化物保診学支  
書誼  
ラ イ エ リ  
学 実 験  
理 理 体  
健 療 一  
生 関 ホ 一

庫室室堂ア室室育室ル

K  
L  
L1  
L15  
L2  
L3  
L5  
L7  
L60  
L0

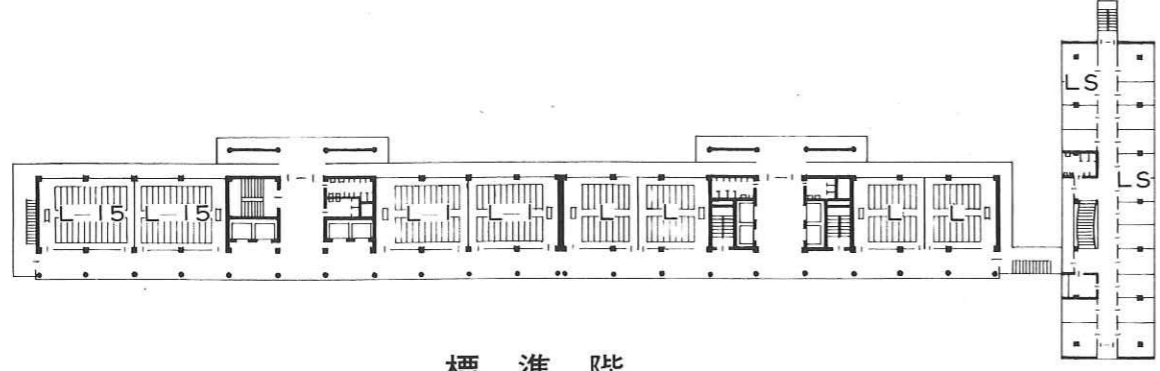
房室  
講 義  
96人  
132人  
144人  
226人  
312人  
510人  
754人  
60人  
談 話  
室

M  
M D  
M B  
M F  
M P  
O T  
O  
P  
P C  
P D  
P R

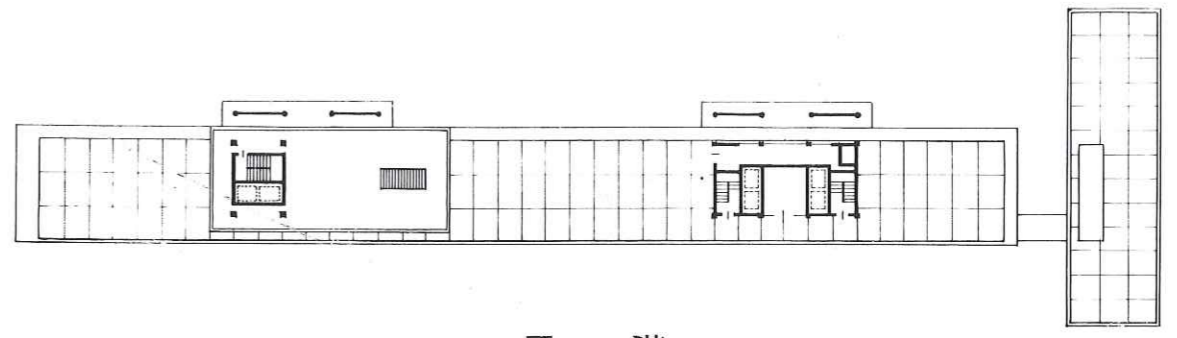
電 氣 室  
風 機 一  
イ ラ プ  
送 燃 料  
ボ 送 事 務  
燃 事 授 會  
教 事 員 員  
教 授 長  
教 職 長

Q  
S P  
S T C  
T T P  
T U V  
V C  
W X

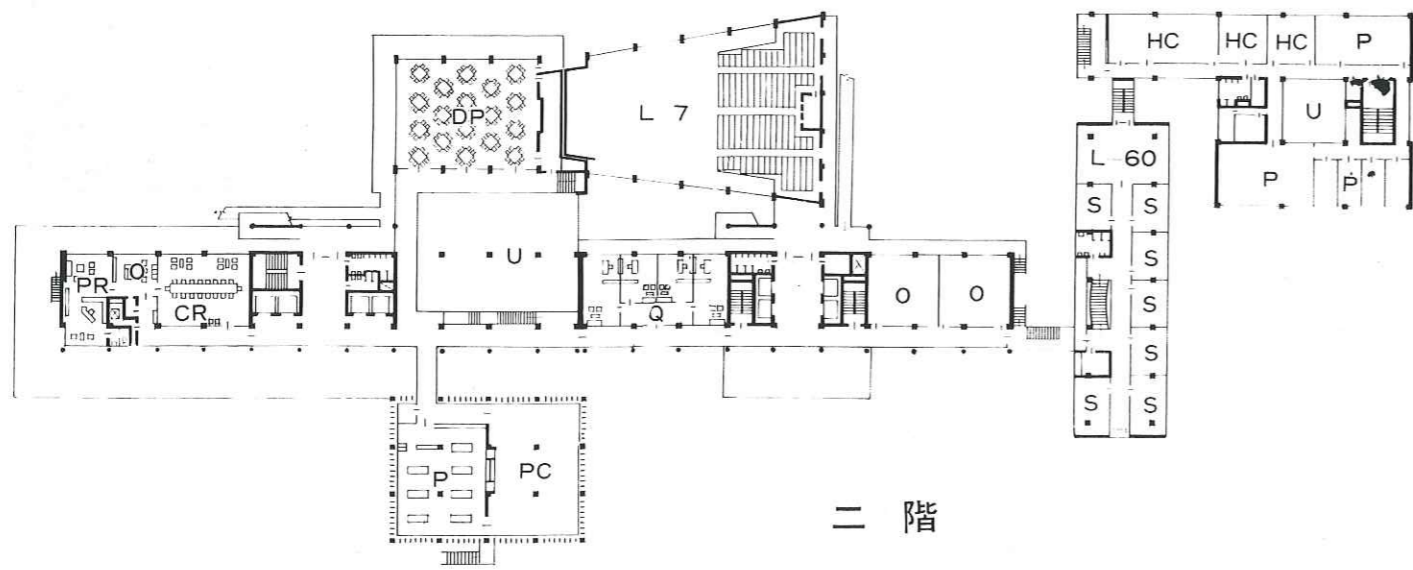
室室店室室室拔庫庫室室  
事 監 究 茶 作 刷 全 直 員  
理 研 商 喫 工 印 吹 安 倉 宿 從  
業 員



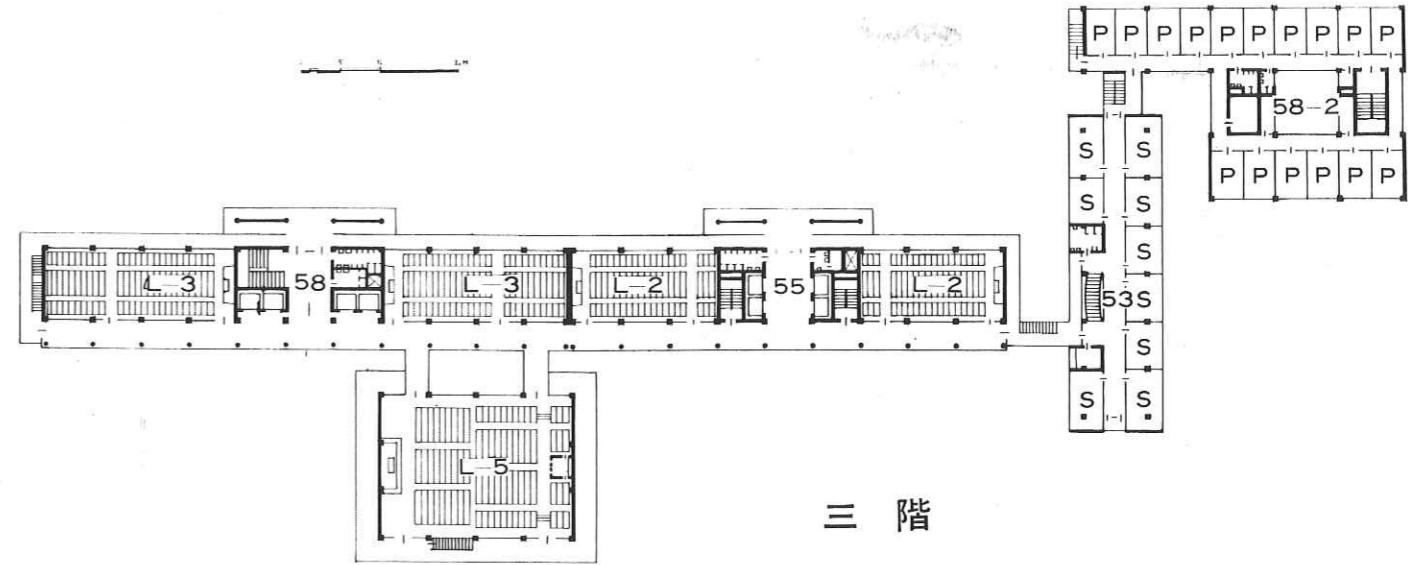
標準階



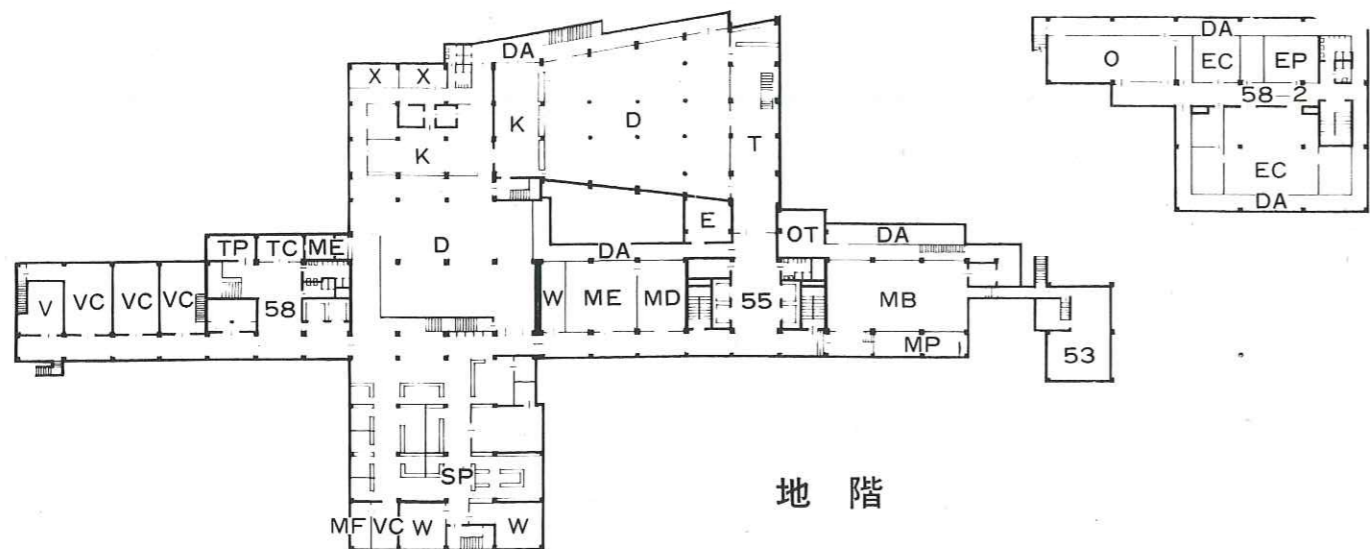
屋階



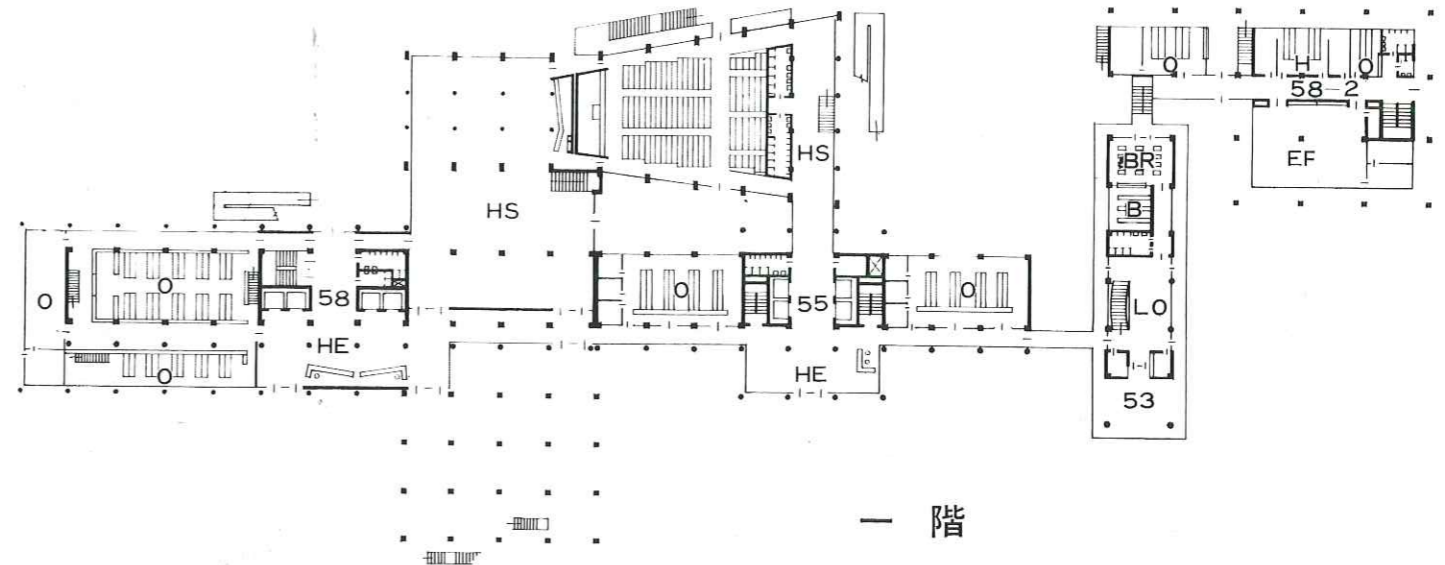
二階



三階

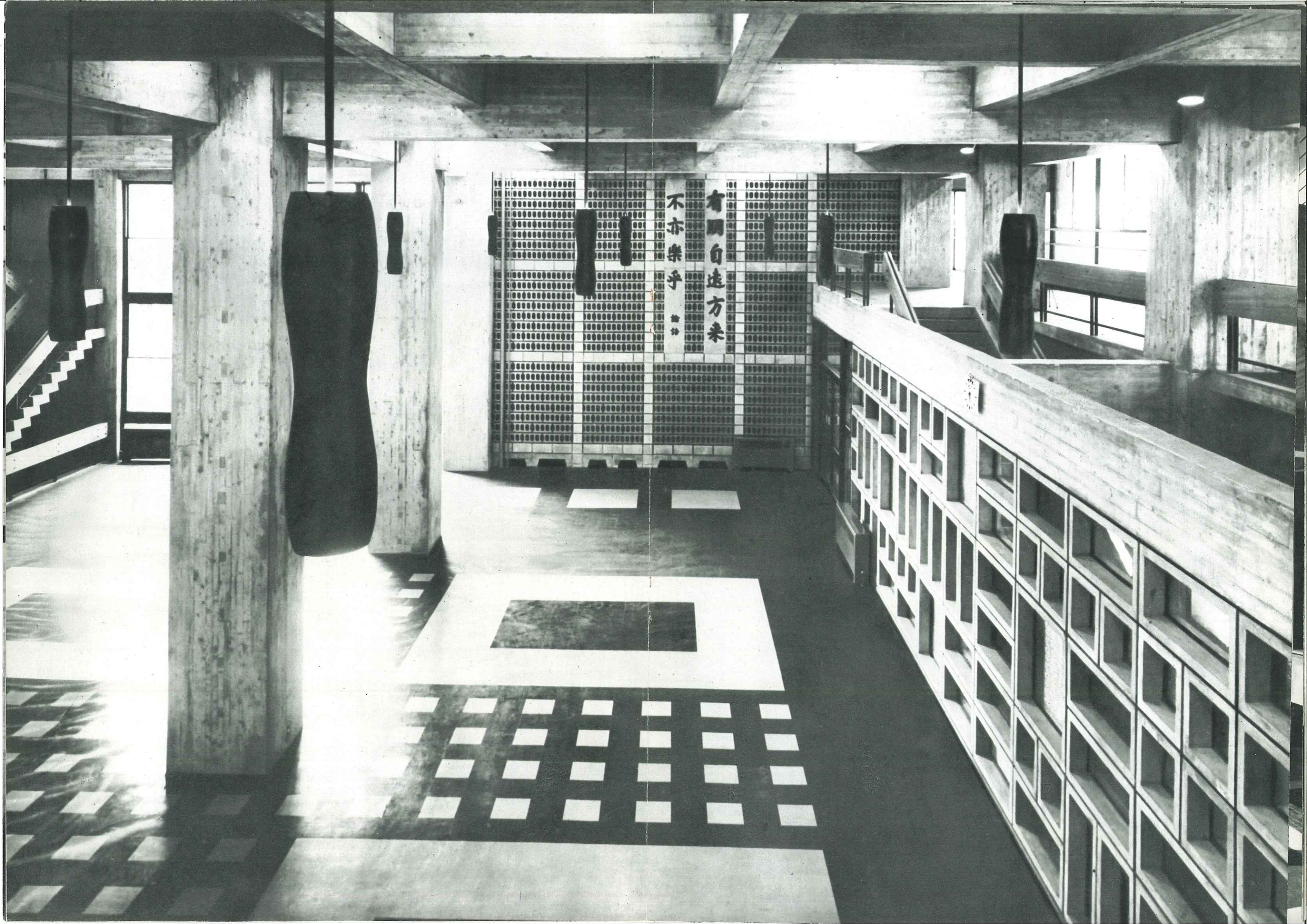


地階

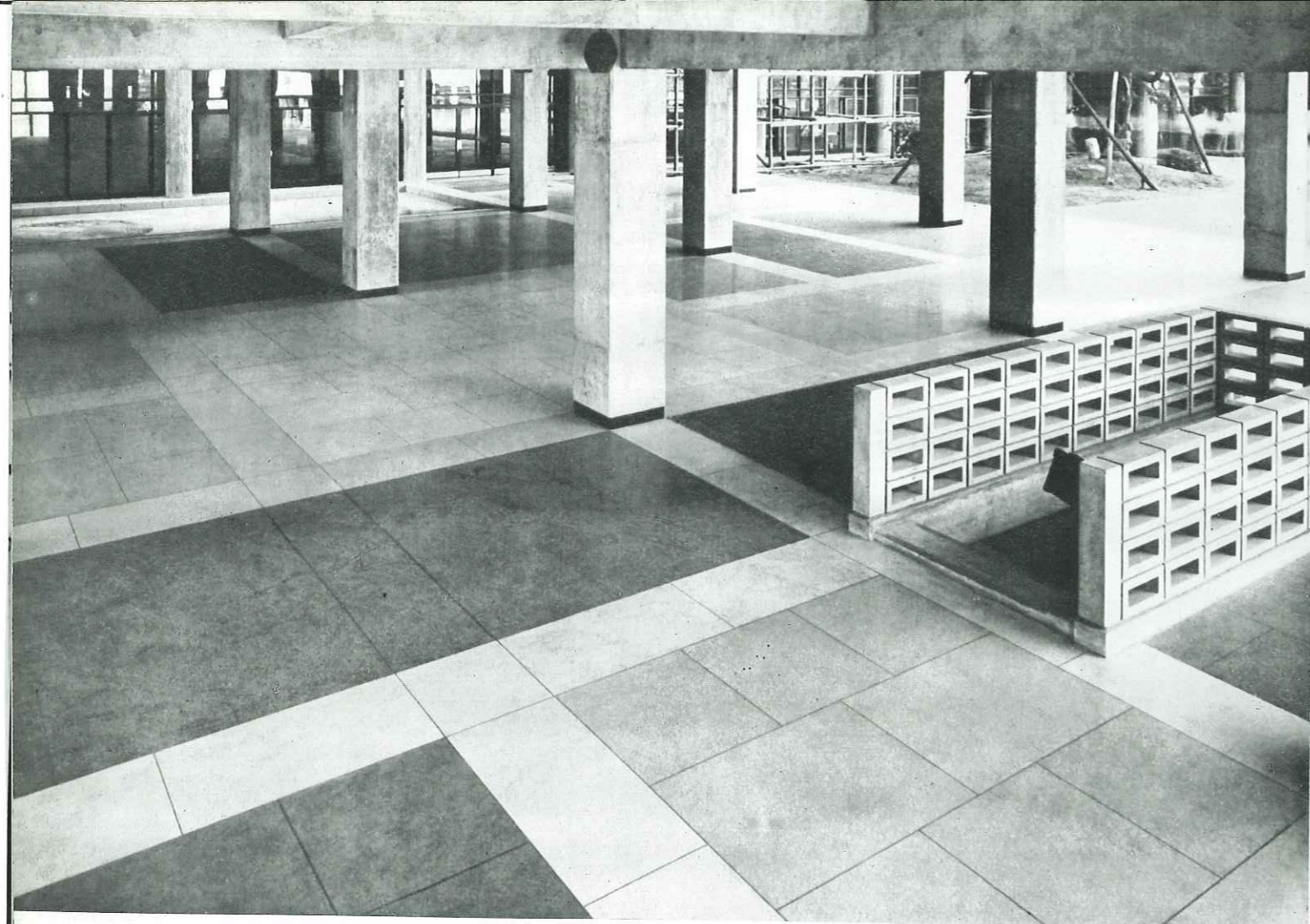


一階









1  
2

学生ホール（前頁）

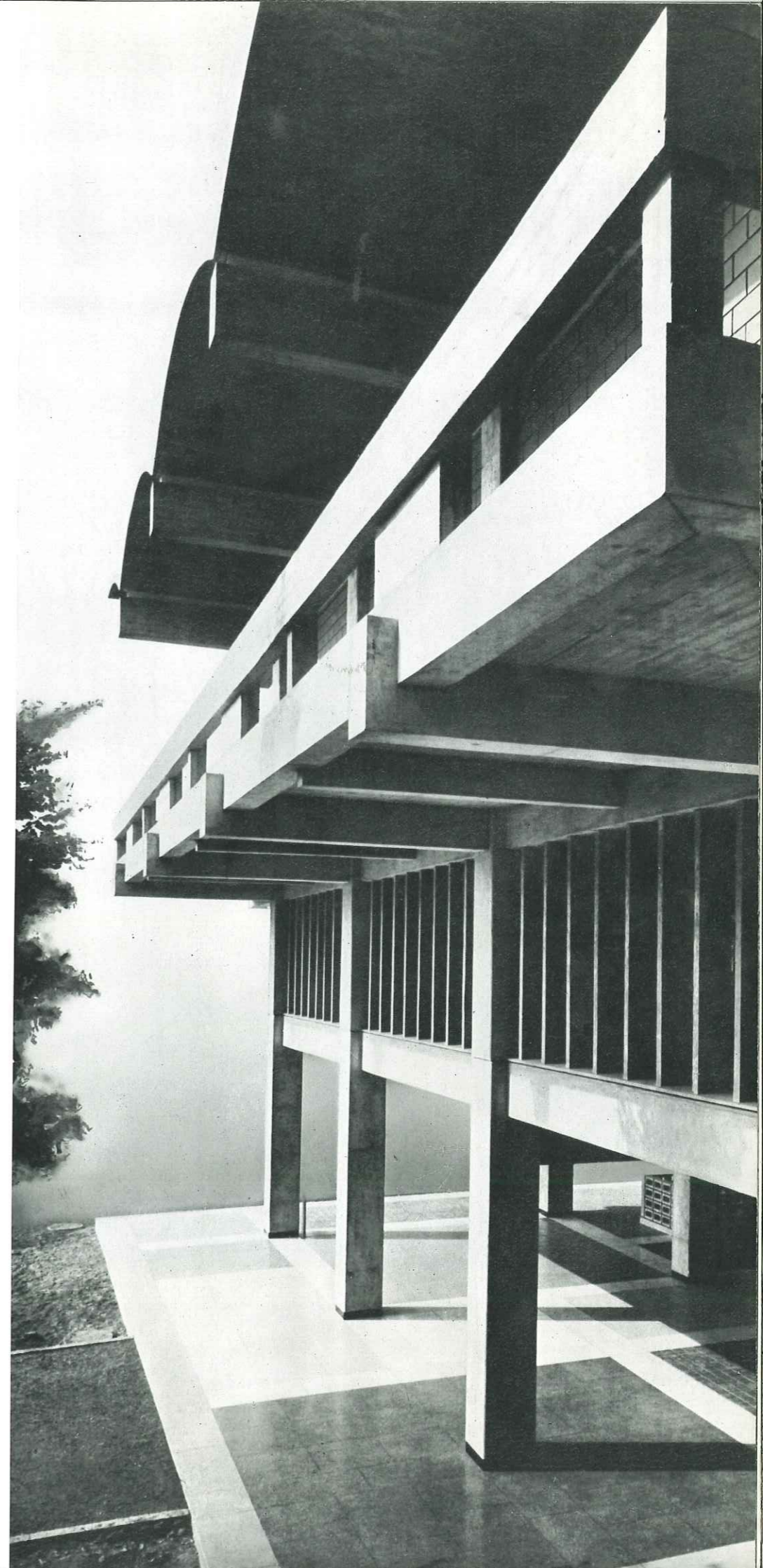
- 天井 トムレックス吹付け  
ルーバー天井
- 壁 軽量コンクリートブロック  
化粧積樹脂塗料塗
- 床 アスタイル貼り

1ピロティ

- 天井 プラトン打込スプレー仕上
- 床 人造石研出硝子目地棒

2 玄関エレベーターホール

- 天井 浮し天井ビニールレザー貼り
- 壁 穴明コンクリートブ  
ック化粧積テラゾーブロック  
貼り
- 床 人造石研出硝子目地棒







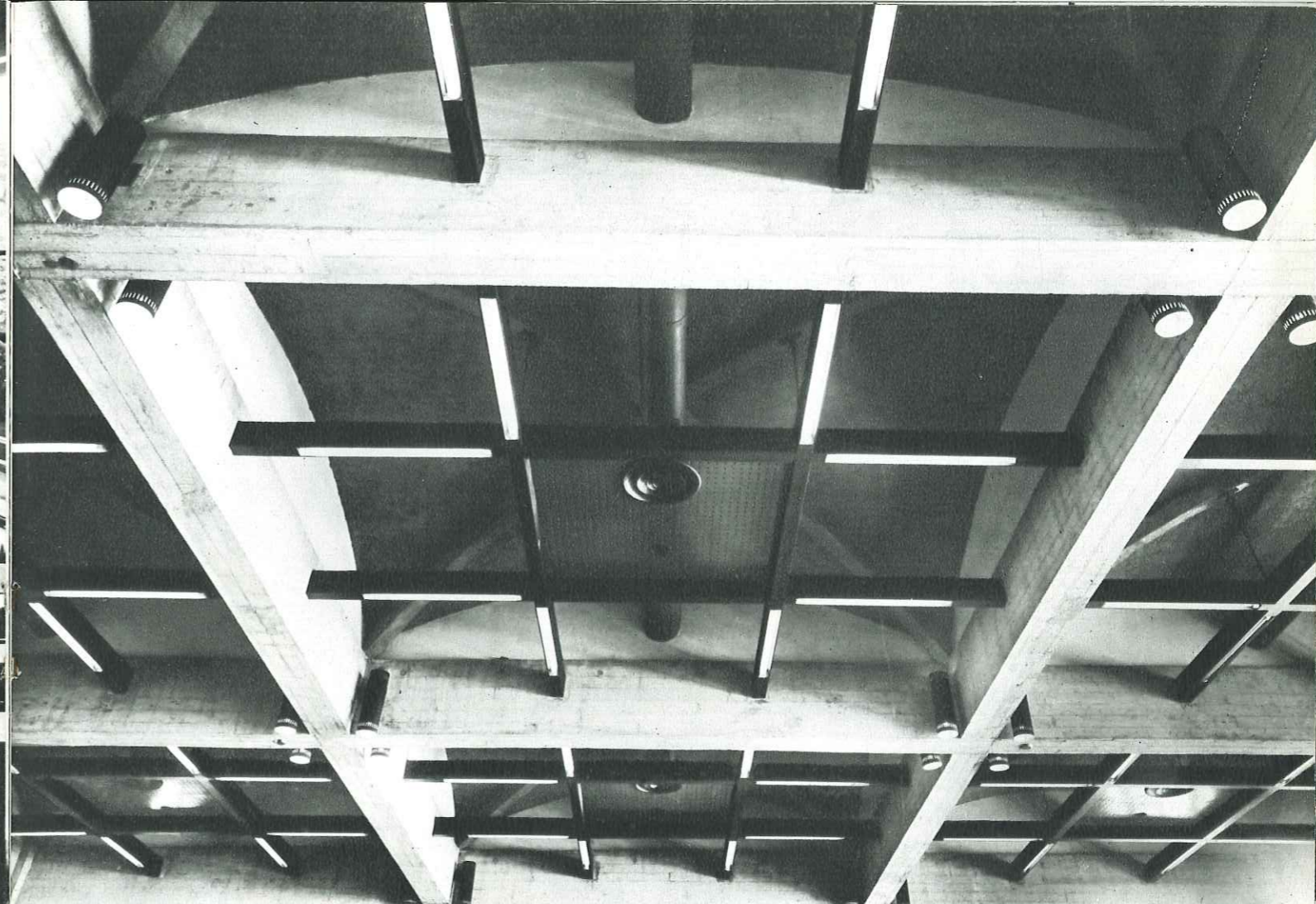
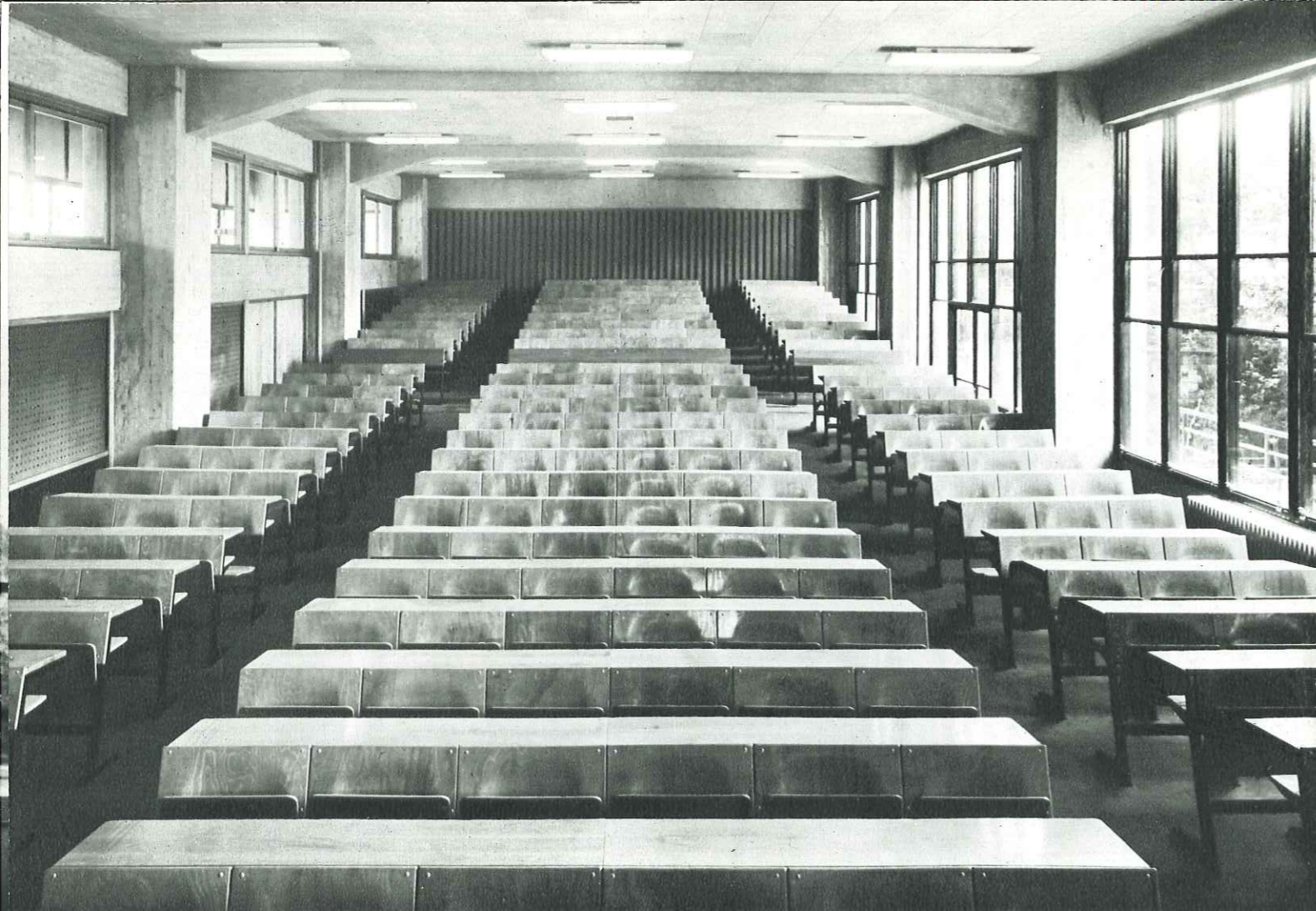
◀ 312人 講義室

天井 トマテックス張り  
 壁 穴明ハードボード張り  
 床 マルケイ床

学部 講義室

55年館	96名小講義室 (90.24) <sup>M<sup>2</sup></sup>	16室	1,536名
	226名中講義室 (180.48) <sup>M<sup>2</sup></sup>	4室	904名
	754名大講義室 (649.16) <sup>M<sup>2</sup></sup>	1室	754名
	小計	21室	3,194名
58年館	132名小講義室 (108.86) <sup>M<sup>2</sup></sup>	2室	264名
	144名小講義室 (115.20) <sup>M<sup>2</sup></sup>	8室	1,152名
	300名中講義室 (224.06) <sup>M<sup>2</sup></sup>	2室	600名
	312名中講義室 (230.40) <sup>M<sup>2</sup></sup>	2室	624名
	510名大講義室 (422.40) <sup>M<sup>2</sup></sup>	1室	510名
	40名ゼミナール室(51.26) <sup>M<sup>2</sup></sup>	4室	160名
	小計	19室	3,310名
	合計	40室	6,504名





法政大学53.55.58. 第Ⅱ58年館工事概要

312人 講義室

所在地	東京千代田区富士見町三ノ一				
	53年館	55年館	58年館	第Ⅱ58年館	
期 着工	昭和27年1月25日	昭和28年8月27日	昭和31年11月14日	昭和32年11月10日	
期 竣工	昭和28年2月25日	昭和30年1月10日	昭和33年5月15日	昭和33年8月31日	
構 造	S.R.C地下1.地上6.塔1階	S.R.C地下1.地上7.塔1階	S.R.C.地下1.地上7.塔3階	R.C地下2.地上3階	
建 物 面 積	M <sup>2</sup>	M <sup>2</sup>	M <sup>2</sup>	M <sup>2</sup>	
	建築面積	452.400	1,682.200	2,604.706	730.800
延 面 積	2,493.494	7,604.410	10,069.791	2,937.682	
玄 関 ポ ー ナ	45.200	146.900			
テ ラ ス	111.984		616.584		
パ ル コ ン	98.300	827.300	1,097.595		
非 常 階 段	69.280	212.330	229.993	62.074	
ラ ン プ		499.800	640.390		
ビ ロ テ ィ			540.000		
展 望 台			351.184		
渡 廊 下				6.840	
ド ラ イ エ リ ャ		146.400		377.490	
高 さ	M	M	M	M	
	軒 高	21.000	27.750	27.750	10.700
	最高の高さ	23.150	32.525	37.650	11.600
外 部 仕 上 概 要	構造主体部	コンクリート下地モルタル刷毛 引きスプレー仕上	コンクリート打放し仕上	同 左	
	屋 根	陸屋根防水層モルタル 目地切仕上	同左 一部鉄骨軽量 コンクリート防水層スーパー メトロイド貼り仕上	陸屋根防水層モルタル目地 相貫体シエル防水層シルバーライト 仕上HPシエル防水層シルバーライト 仕上	
建 物 用 途	窓	スチールサッシ引違り出し スパンドレル 網入ガラス嵌殺	同 左 アスベストウッド嵌殺	同左及鋼製水平ルーバー付き コンクリートモルタルアーマーコート仕上	
	出 入 口	スチールドアオイルペンキ仕上 非常階段 S.C.オイルペンキ仕上	同左及び段板P.Sコンクリート板 汽罐室、油、石炭、灰燼庫、ポンプ 室、エレベーターホール、変電気室、 発電気室直直室、事務室、給湯室、 男・女子便所、講義室、エレベータ ー、換気機械室、水槽、学生控室、 300名食堂、厨房、喫茶室	同 左 ゾノライトアスベスト両面貼り嵌殺 同 左 R.C打放し 書庫、金庫、ポンプ室、売店、食堂厨房 印刷、工作、換気、エレベーター機械 室、事務室、学生控室、ソーダファ ウンテン、エレベーターホール、総長 室、同窓接、会議室、教職員食堂、教 授室、講義室、ゼミナール室、展望台	

設備工事概要

1.電気設備

自家変電設備

受電3相3線式 3,300V 400A50 $\sim$ 、動力200V3相3線式、電灯200V/100V単相3線式、

照明兼光熱照明一部白熱電灯使用  
動力用変圧器 150KVA 単相一次側3,300V 二次側210V 3台  
電灯用変圧器100KVA 単相一次側3,300V 二次側105V 5台  
高圧蓄電器50KVA 3相 3,300V 50 $\sim$ 2台 自動電圧調整器60KVA 3相3,300V 50 $\sim$ 1台

自家発電設備

軽油エンジン90HP 1,000RPM、発電機70KVA220V 励磁機100V、制御盤変圧器 40KVA 1台

蓄電池設備

蓄電池24V100AH充電器一次側3相交流200V50 $\sim$  二次側直流 24V $\sim$ 36V15A直流配電盤

拡声器設備

建物一般用増幅器180W可搬型全自動チャイムベル時報

754名大講義室用増幅器30W可搬型  
510名大講義室、学生控室及び食堂用増幅器10W可搬型  
300名、312名中講義室、教職員食堂及び会議室用増幅器10W可搬型

電話設備

32型共電式4座席複式交換機局線回路20 内線回路160

其の他設備

火災報知機(MM式)差動式感知機、電気時計44箇、時報子時計2箇、避雷針、電動黒板

2.暖房設備

汽罐4基 型式MP型ボイラー(MP104)オイルバーニング全自動運転、蒸気直接暖房及び温風暖房

オイルバーナー4組 燃焼量毎時45ガロン 瓦斯着火、汽罐給水ポンプ水量毎時8M3(WP-5)1台、毎時10M3(WP-6)1台  
電動真空給水ポンプ水量毎分60立2HP1台、毎分100立2HP1台、毎分30立2HP1台  
汽罐給水タービンポンプ水量毎分300立10HP2台、重油貯槽2基容量10T 還水槽容量3T  
温風暖房用空気加熱器2個エアーフィルター2組送風機NO.6毎分14、280立方呎 7 $\frac{1}{2}$ HP

3.冷房設備

パッケイジドエアーコンディショナー1,000-FH1台、冷却水量毎時4.4 $\sim$ 9.0立方呎 基準冷却能力10RT 5P $\times$ 2台

コンデンサーポンプ毎分150立5P

4.換気設備

754名大講義室換気扇 NO.4 $\frac{1}{2}$ 羽根径23吋風量毎分4,250立方呎 1/2HP4台

55年館食堂用換気扇 NO.5羽根径25 $\frac{1}{2}$ 吋風量毎分5,300立方呎 1/2HP2台

映写室用換気扇 NO.3 $\frac{1}{2}$ 羽根径18吋風量毎分2,470立方呎 1/4HP1台

58年館売店及食堂用送風機 NO.7片吸込多翼型送風機風量毎分19,000立方呎10HP 1台

配膳室用送風機 NO.3 $\frac{1}{2}$ 片吸込多翼型送風機風量毎分3,300立方呎1HP 1台

工作室、印刷室用送風機 NO.2 $\frac{1}{2}$ 片吸込多翼型送風機風量毎分1,740立方呎1HP 1台

便所用送風機 NO.4 片吸込多翼型送風機風量毎分4,120立方呎2HP 1台

化学実験室用送風機 NO.4 片吸込多翼型送風機風量毎分4,750立方呎2HP 1台

ドラフトチャンバー用送風機 NO.1 片吸込多翼型送風機風量毎分216立方呎 1/4HP 2台

5.衛生設備

深井戸ポンプ(ケーシング10吋深度100M)1台水量毎分800立 井水揚水ポンプ水量毎分550立1台

深井戸ポンプ(ケーシング14吋深度150M)1台水量毎分1200立 水中ポンプF125/3水量毎分1,350立 40HP1台

上水揚水ポンプ2台水量毎分400立消火ポンプ水量毎分750立口径4吋1台、排水ポンプ水量毎分550立4台

汚物ポンプ4台水量毎分360立5HP、排水ポンプ水量毎分210立3HP2台

屋内消火栓61ヶ所サイヤーマイズコネクション口径2 $\frac{1}{2}$ 吋3ヶ所 消防隊用消火栓口径2 $\frac{1}{2}$ 吋2ヶ所消防隊用採水口2ヶ所

制御方式 カースイッチコントロール交流二段速度 6台

手動自動切替デュアルコントロール 2台

積載重量 1,800KG(17人乗)昇降速度毎分60M $\cdot$ 行程28.4M $\times$ 4台 $\cdot$ 27.7M $\times$ 2台 $\cdot$ 25.07M $\times$ 2台

6.昇降機設備

7.家具設備

固定学生机椅子、教卓、履掛、総長室、教授室、食堂等家具一式

大講義室格子天井





1|3  
2|4

- 1 会議室
  - 天井 ヘッシャンクロス貼り
  - 壁 コンクリートブロック化粧積
  - 腰 煉瓦化粧積
  - 床 アスタイル貼り
- 2 階段室
  - 天井 プラトン打込スプレー仕上
  - 壁 コンクリートブロック化粧積
  - 床 人造石研出
- 3 総長会議室
  - 天井 檜ルーバー天井
  - 壁 テラコッタブロック化粧積・桜堅羽目
  - 床 フローリングブロック・カーペット敷詰
- 4 総長室
  - 天井 ヘッシャンクロス貼り檜ルーバー
  - 壁 ヘッシャンクロス貼り・テラコッタ化粧積
  - 床 フローリングブロック・カーペット敷詰支那緞通敷

